

『週刊文春』では2006年から年に2回、金融・相続特集を実施しており、これまでに13回展開してまいりました。資産運用や相続に対する個人の関心が高まっている社会背景から、おかげさまで毎回、多くの資料請求はがきが寄せられる人気特集に成長しました。年2回の金融・相続特集だけではフォローし切れない読者のニーズに応えるため、今回、新たなシリーズも展開することになりました。題して『Bunshun Money Project』。

本特集では、編集ページで毎回、投資や相続に関するテーマを設け、著名ファイナンシャルプランナーを指南役にそのテーマについてくわしく解説します。その対向ページにテーマに即した広告を掲載することで、広告効果を高めるのが狙いです。ご出稿クライアント様の商品やサービスに応じて編集ページのテーマを設定することが可能です。ぜひこの機会に週刊文春への出稿をご検討頂けます様、お願い致します。

■4c1p純広告:150万円G

■4c1pTU:185万円G

【誌面展開イメージ】



*4c1p広告対向に4c1p編集記事を展開します。
テーマ設定は可能です。

(個別商品を薦めるページではありませんので、ご了承ください。)
事前に一度、原稿はご覧いただけます

テーマ
(案)

NISA(ジュニアNISA)、投資信託、REIT(不動産投資信託)、
株式投資、FX(外国為替証拠金取引)、相続、生前贈与、
遺言信託、不動産活用など。

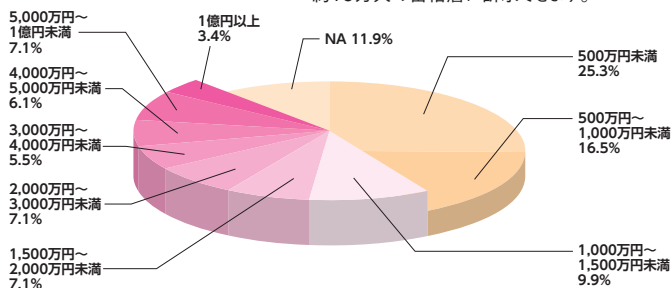
●スケジュール:申込締切:掲載の2か月前 取材:校了の1か月前 校了:掲載の2週間前

●掲載面:原則的に表3見開きに掲載します。*台割の都合上、移動の可能性もあります。

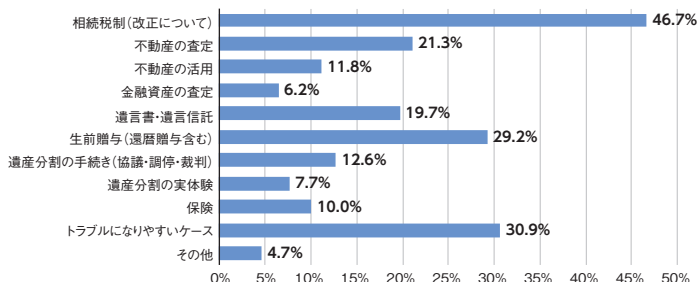
『週刊文春』は実売約45万部(2014年7月~12月ABC公査)と11年連続総合週刊誌NO.1。読者の男女比は55:45。年齢層も30代~60代まで幅広く、さらに回読人数が3.2人と、“家庭へ持ち帰れる国民的週刊誌”として、他の総合週刊誌とは一線を画する雑誌です。年2回実施している金融・相続特集の資料請求者の約半数が1000万以上を貯蓄・投資していると答え、投資意欲も高い読者が多くいます。また相続に関する関心も高いです。(下記グラフ参照:過去アンケート結果より)

現在の貯蓄・投資額

約半数の読者が1,000万円以上を貯蓄・投資。
3,000万円以上は約20%おり、
約10万人の富裕層に訴求できます。



相続に関して興味のある事柄



預貯金以外で現在運用している金融商品・サービス

